

月刊「にじのはし」53号 (令和3年11月号)

季節はずれの暑さが10月末まで続き、衣替えに悩まれたご家庭が多いのではないのでしょうか。れいんぼーでも、10月はまだ冷房を使う日が何度かありましたが、11月に入ってようやく季節が進み始めたように感じています。今年は短い秋になりそうですが、この彩り豊かな季節をご家族で楽しんで頂ければと思います。また、朝晩の急な冷え込みで体調を崩される方もおられるようですので、冬に向けて、改めて感染対策や健康管理にご注意ください。さて、今号では10月の活動の様子を振り返ります。どうぞお楽しみください。

季節はずれの暑さが10月末まで続き、衣替えに悩まれたご家庭が多いのではないのでしょうか。れいんぼーでも、10月はまだ冷房を使う日が何度かありましたが、11月に入ってようやく季節が進み始めたように感じています。今年は



10月のお誕生日会

10月27日(水)に、10月生まれの2名のお誕生日会を開催しました。誕生日会の前にはいつも、主役の子に好みのケーキやスナック、飲み物をたずね、紹介する時の音楽を相談して決めています。参加する子にとっても、食べ物や音楽を通じて他児のことを知ったり、共感できる機会となっています。今回ケーキと「なにがでるかな」の後は、「ボウリング de 作文」というゲームを楽しみました。いつ・どこで・だれが・なにをした、という文章を事前に参加者から集め、牛乳パックの側面に貼り付けておき、コップをいくつか取り付けて斜めにしたテーブルにボールを転がし、当たった牛乳パックの言葉を順番につないで文章にしました。面白い文章がたくさん生まれて、みんなで大笑いして盛り上がりました。



ハロウィンパーティーを開催しました



10月28日(木)は、一年で一番盛り上がるハロウィンパーティーでした。職員も気合を入れて仮装をしてお迎えし、みんなで「ハッピーハロウィン!」とご挨拶。子どもたちも自前の衣装やカラービニール袋で作った衣装で、なりたいキャラクターに変身しました。ハロウィンのおやつを頂き、ハロウィン・クイズに参加した後は、ペアになって箱

の中の物に手を触れて当てる「あてもの箱」を楽しみました。そして、恒例の「お化けピニャータ」では、全員が3回ずつ叩いて、やっとお菓子が落ちてきました。最後のトリック・オア・トリートでもお菓子をもらいました。仮装のまま帰宅する子もいて、今年も大盛況のハロウィンでした。



10月の活動プログラムより

10月の**工作プログラム**は、ハロウィンキャンドルを作りました。球形のキャンドルにオレンジ色や緑色のロウをくっつけ、ジャックオーランタンの形に仕上げました。ロウで小さなパーツを作るのが難しかったですが、なかなかの仕上がりでした。

料理プログラムもハロウィンにちなんで、おばけさつまいもチップスを作りました。手を切らないよう軍手をして、スライサーで薄くスライスしたさつまいもに、目や口を型で抜いて、愛嬌のあるおばけチップスがたくさんできました。

英語プログラムは、それぞれ色々な組み合わせの物の絵が描かれた紙を受け取り、Do you have? (～を持っていますか?)と尋ねられて、自分の紙にその絵があれば、Yes, I do.と答え、なければNo, I don'tと答える英語遊びを楽しみました。答えるたびに立ち上がって元気に発声しました。

音楽プログラムは、ドレミ当てクイズという聴音のゲームに挑戦しました。キーボードで演奏された音がドの音かレの音かなど、耳を澄まして考えました。

ゲーム大会・運動プログラムでは、ペアになってうちわ風船リレーや、スプーンリレー、綱渡りじゃんけんなどの室内を広く使って動く活動や、片足立ち競争や足上げキャッチボールなど、体幹をしっかり使う遊びを取り入れました。

自由あそびの時間には、みのむしの壁飾りを作りました、毛糸や折り紙の服をまとった色とりどりのみのむしが並びました。また、自由工作でお気に入りのキャラクターを印刷して使うために、いつのまにかパソコンスキルが上達した子もいれば、プラレールでは線路を立体的に組んで、電車を上下で交差させたりと、ひとつの遊びを深めたり、展開して楽しむ様子も見られました。ドミノやくみくみスロープなどのシンプルな遊びから、人生ゲームや大富豪などの頭脳ゲームまで、さまざまな活動を楽しみました。

